

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山支援学校	実践者名	榎原 敦
実践場面 (教科)	社会		
単元・題材名	都道府県を覚えよう		
学習目標・ねらい	興味関心を持ちながら都道府県を覚える		
対象の児童生徒の 実態	小学部4年 教科書を使って勉強している。繰り返し学習をしていくことで、学力定着を図っている。		

活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する

使用アプリ：「Safari」（どのブラウザでも可）



→ (検索) →



- ①「地図クイズ」と検索して、ヒットした「地図クイズ teikokushoin.co.jp」を開く。
- ②目的のクイズを始める（今回の事例は「スリーヒントクイズ」）
- ③問題はランダムに出てくるので、ヒントを見ながら正解を考える。
 - ・ヒントは「地方や位置」「地図帳上の絵記号」「名所や特産品」の3つから自由に表示することができる。



- ④「答えを見る」をタップすると、正解とともに県庁所在地、人口、日本地図上の位置などの情報を見ることができる。



活用のポイント・改善策等

端末とインターネット環境があれば、すぐに活用できる。また、サイトを「ホーム画面に追加」しておけば便利である。

授業の始めに、ウォーミングアップとして、また補充学習や宿題等の様々な場面で活用できる。上記事例「スリーヒントクイズ」の他にも「都道府県パズル」や「地図記号クイズ」、「統計クイズ」なども必要に応じて使うとよい。

出題順も毎回変わるのも、繰り返して取り組めるメリットである。

自主性を尊重するためには、いつでも端末を使える環境を整えておくことも大切である。